



久松山下 青春の思い出

第2号

二〇一七年三月一日発行

発行責任者：鳥取西高近畿同窓会

発行責任者：米澤道隆（西高三九年）

編集責任者：山内紀嗣（西高四三年）

米澤道隆（西高三九年）

私は西高時代部活の経験がないためそれ以外の特に印象深い二点の出来事を報告したいと思います。

一・放課後の厳しい応援練習

昭和三十六年（一九六一年）入学早々の一週間は毎日放課後二時間、日によって三時間位応援団の指導による校歌、応援歌、手拍子などの練習（西高生としての洗礼とでもいうべき伝統？行事）があった。校庭に整列し罵声を浴びながら必死で憶えた事が懐かしい。これらの歌詞やメロディーはその後折に触れ口ずさむことも多く、人生の支えになったと



西高のグラウンドと体育館

言っても過言ではありません。

二・初の日米衛星中継とケネディ暗殺

昭和三十八年（一九六三年）十一月二三日は初の日米衛星中継（実験放送）の初日であった。受験勉強のさなかであったが、この歴史的なイベントを観ようと早朝ではあったが、TV（まだ白黒でした）に釘付けになっていた。しかしアナウンサーの第一声はケネディ暗殺というショッキングなニュースを伝えてきた。前年のキューバ危機を乗り切った若き大統領ということもあり、親近感と畏敬の念を抱いていただけに大変衝撃を受けて登校したが、級友も皆一様にショック状態だったのを覚えている（この事件から五〇年後の二〇一三年一月に事件当時はまだ五、六歳だった長女のキャロラインさんが駐日大使として赴任された時も大変驚いた）。

大江徹（西高四二年）



私の西高時代の大きな思い出は二つです。一つは中学から始めた柔道で黒帯が取れた事です。大学時代も続けたため、その後の私の体力に大きな自信と根性が持てました。二つ目は二年の前期の生徒会長をやらせていただいた事です。

指導教員の前田、早田、上田先生達にご迷惑をおかけし、恒例の夏休み補習授業は自主学習とすべきと信じ、中止していただいた事、盛大な運動会が生徒会的主导で出来た事等々、生徒会役員の方々に支えられてやらせていただいた事が強く思い出として残っています。

安宅寿昭（西高四三年）

高校三年生の最後の運動会でファイアーストーム点火の聖火リレーのアンカーを務めました。会場よりお堀端を一周して想い出を何度も何度も胸に刻み、スタンドの上段へ一歩一歩昇りました。聖火を高く揚げると怒涛のような歓声が湧き、高揚した雰囲気の中、最後の祭典の炎が燃え上がりました。自分と同級生達の青春の最高潮に学年を代表して役割を演じられたこと、一生の宝物です。

片山寿恵（西高四三年）

在学中最も印象に残っている事と言えば、名目は忘れましたが昭和天皇・皇后両陛下が西高に来られた事です。校庭で待機、校舎には赤い絨毯、「天皇陛下から頂いた」と菊の紋入りのタバコを嬉しそうに見せて下さったあの先生の笑顔。

私は四人兄弟の長女で、全員西高の卒業生、弟たち三人にも聞いてみたい「在学中、最も印象に残っている出来事とは？」と。ちなみに今日九月二十七日は父の祥月命日。



庄田英一（西高四四年）

高校三年生になった時、六月頃行われる九州方面への修学旅行を楽しみにしておりましたが、なぜ



かその年度は真言宗総本山高野山体験コースとなりました。（なんでやねん！）雨がしとしと降る中に目的地へ向かってバス旅行、宿坊は寺院、精進料理を食べ就寝、翌日朝から座禅、僧侶の訓話、終了時には足に感覚が無く正味の修学旅行、翌年は九州方面への修学旅行が復活したとのこと、平成一六年七月、世界遺産に登録された高野山で貴重な体験をした昭和四四年卒業生でした。

山田陽子（西高四五年）

大正三年三月に祖父が鳥取一中を卒業して以来、父母は県外の学校でしたので、昭和四二年四月から私が、昭和四四年には妹、その後、子供たちが西高でお世話になりました。私の在学時代には電子辞書等は無く、教科書、ノート、参考書、英和・漢語、複数の辞典で重いカバンを抱えて久松山下から坂道を登って通ったことが思い出されます。その懐かしき思い出のある地に西高の存続が危ぶまれる時期があり心配しておりましたが存続できる事となり嬉しく思います。



私の原点、西高コーラス部

柴田和子 (西高四二年)



私は現在、福祉の仕事に就いています
が「ひもとぎシート」なるもので、母校
鳥取西高への思い出を伝えたいと思いま
す。

高齢者夫婦世帯でありながら現在の私
は今だに仕事を持ちつつ、郷里鳥取の母
への遠距離介護に明け暮れています。そ
れを支えているのが毎週通っている女性
コーラスグループ「ラ・プリマベール」
の存在です。これまでの奈良の地での生
活四〇年のうち、三五年余り歌っており、
家庭・仕事・コーラスが私の人生の大切
なサイクルとなっています。そしてコー
ラスの原点はるか昔の西高コーラス部
に遡るのです。

その当日、部員の私は満足に声も出せ
ず、中三の担任が音楽の先生だったこと
もあり、西高でも迷わずコーラス部に入
部しました。西高の指導者の先生はとて
も存在感のある方でしたが、それ以上に
先輩男子生徒の声の美しさにいつもシビ
れていました。自分自身が余り熱心な部
員ではなかったのですが、合唱曲をハモ
る心地良さをその頃



体感したお陰で、現
在のコーラスをこれ
程長く続けられた基
になっていたと改め
て感謝の気持ちで
いっぱいです。

芸術は感性と言います。久松山の麓の
母校で、わずかな期間ではありましたが、
コーラス部に所属し、正確なピッチ
でハモリ、すてきなハーモニーを作り上
げる、、、それを聞いている方に届ける。
それが同じ空間を共有する、、、今のコー
ラスの原点である事は間違いないと思っ
ています。それと私の人生にとりまして
もひとつの「こだわり」が生じたのです。

それはその時のコーラス部の先輩男性
の魅力ある声です。高校を卒業してから
も耳に残りました。その後の私の人生は、
男性に会う度に私の好みの声かどうか？
見栄えよりもまず声に惹かれました。仕
事の電話での声が素敵だと思わず心地良
くなり、会話も弾む、、、と言った具合で
す。まず、声の素敵な男性に惹かれたも
のでした。いくら素敵な出で立ちでも、
好みの声でないと失望します。今の夫
は合格点！。まあ人生いろいろ。声の
好みもいろいろ。

私の西高コーラス部を出発点とした人
生をいろいろ書きましたが、その後の学
生時代は
マンドリ
ン部に籍
を置き
トレモロ
の音に酔
った時期
もありま
した。そ
して同時



整備された現在の二の丸

に学生ダンスコンパ
が盛んでしたので、
その頃はワルツ、タ
ンゴ、ジルバ、マン
ボと心地良い音楽を
体で表現することがとても楽しい時期で
した。



また、卒業後、社会人となり、結婚し
て家庭に入ってから、クラシックの好
きな夫とよくコンサートを楽しみまし
た。その頃からまた原点に戻り、女性コー
ラス(ママさん)に入りました。そう、
もう三〇年は歌い続けています。声を出
すこと、ハーモニーを作り上げることの
楽しさは西高時代と何ら変わりません。
ピアノ伴奏曲、アカペラ曲とどちらも好
きですが、今はアカペラの曲のみのコン
サートを催しますので、ただ今、猛特訓
中です。現在も勤務中ですので、ウイ
クデーの練習日は大変で、土曜日の代休
を隔週半日づつに月二回、割り当ててい
ます。

私の唯一集中できる時間帯、それは郷
里に住んでいる実母の介護に月二回帰省
する往復のバスの中です。片道三時間余
りを有効に使うICレコーダーをフル
回転させます。どんなに疲れていても時
も、楽譜を片手に繰り返し練習する一時
は、すごく短かく感じられ、至福の時
間です。この繰り返しはコーラスを長く
続けられた大切な時間であることは間違
いありません。今後、加齢と共にいつれ
も介護をする側から、される側へと移っ

て行く中で、音楽を口ずさみ声を発する
ことは、認知症予防になると言われてい
ます。私の勤務する施設にも音楽療法な
るものがあります。若い頃から歌い親し
んだ曲はいつまで経っても忘れません。
更に、身体全体で心地良い音を感じ、身
体全体で表現することは、お年寄り一人
一人の生き生きとした顔から窺えます。音
楽って、「響」ってこんなにもヒビクも
のなのだと思えます。

その全ての原点は小学校の頃、小学
校の音楽室でピアノに触れたこと、そして
バイエル教則本に親しんだこと、さらに
中学三年の時、音楽の担任の先生との出
会いでしょう。一番大切な出会いが西高
時のコーラス入部での様々な思い出の
数々。どれもこれも今の私にとっては大
切な「ひもとぎシート」です。この「ひ
もとぎシート」を大切に今年の秋のコン
サートに向けて、少しでも頑張りたいと
思っています。



あとがき

今号も原稿を送って頂きながら、紙面の都合
ですべてを掲載することができませんでし
た。申し訳ありません。しかし、高校時代の「思
い出」ですから内容が古くなることはありませ
ん。どしどし、寄稿して頂けると有り難いです。

(事務局)